

島根県

- ①ベンチ
- ②衝立
- ③スポーツ施設での利用

【概要・アピールポイント】

- ・後利用方法を決定するために、庁内で公募を行い、活用方法を決定。
- ・公募にあたっては、大会レガシーとして主にスポーツ関係施設での利用を重視。
- ・作製した木製品は、県立スポーツ施設等へ設置することで、東京2020大会に活用された木材が引き続きスポーツ振興につなげるとともに、県産木材の利用を広くPRする。

■ 資材提供のきっかけ

- ・島根県は、森林率が全国第4位の78%を占める森林県であり、2021年に開催された「第71回全国植樹祭」（東京2020大会と同じ年に開催）と併せて、県が推進する循環型林業をPRするために、県産木材を提供することとしたもの。
- ・木材の提供にあたっては、第22回全国植樹祭（昭和46年）で植えられたクロマツを部材に加えることで、森林資源の造成と活用の重要性を県の内外へのアピールにつなげる。

■ 提供した木材の概要

スギ、マツ 約25m³

■ 用途

- ①ベンチ（5基）、②衝立（1基）



■ 用途決定までのプロセス

- ・県施設において後利用を希望する部署を決定するために、庁内で公募を行い、後利用方法を決定。

■ 完成/使用開始時期

- ①②2022（令和4）年3月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ①県立スポーツ施設
- ②県庁舎

■ 完成まで・完成後のエピソード

- ・令和3年に返却木材の利用方法を検討するために、全国調査を実施し、各自治体の検討状況を整理。
- ・後利用方法の決定にあたっては、全国調査の結果を参考に庁内で公募を実施。
- ・東京2020大会で使用された木材であることから、主にスポーツ関係施設で利用される提案内容を評価。
- ・作製した木製品は、県民のスポーツ振興への意識を高めるために、スポーツ施設等の県施設へ設置。
- ・上記以外に使用されなかった木材は、今後県内のスポーツ施設での利用のため保管し、適宜活用していく。

問合せ先

林政部林業課木材振興室
電話：0852 - 22 - 5168